

森友問題 崩れる政府の説明

昭恵氏関与 疑い強まる

「森友」の籠池泰典氏が首相夫人付政府職員に送った国有地売却をめぐる要望の手紙。この手紙は、夫人付職員から「(安倍) 昭恵さんにお電話いただいた件ですが…こちらに文章を送ってください」との連絡を受け、送付されたものでした(証言を「赤旗」日曜版4月2日付が報道)。

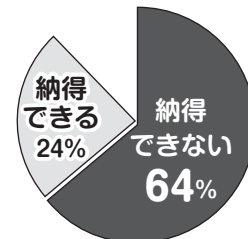
「しんぶん赤旗」日曜版が報道
新証言が明らかに

政府は手紙が首相夫人付に送られたことなどから「(夫人付の) 個人的なこと」と説明。しかし証言が事実なら、少なくとも手紙の送付に昭恵氏が関与していたことが明白に。安倍首相は「私や妻が(売却に)関わっていれば総理はやめる」と言っています。



▲申請が取り下げられた「森友」小学校(「しんぶん赤旗」提供)

安倍夫妻の国有地売却関与否定の首相説明に



「読売」3月20日付

籠池氏の要望にもとづく首相夫人付職員の問い合わせに対し、財務省は「現状ではご希望に沿うことはできない」と回答しました。これをもって政府は「ゼロ回答で、昭恵氏が関与したことにならない」と弁明しています。

しかし、籠池氏の主な要望は、時間はかかっても最終的に実現(左の表)。「満額回答」です。

「ゼロ」どころか満額回答

	籠池氏の要求 15年10月26日付手紙	財務省側の回答 同11月17日付ファックス	結果
定期借地契約	10年は短すぎる。50年契約にして早い時期に買い取れないか	10年は短くない。50年契約は難しい	2016年6月、早期買い取りが実現
賃料	賃料が高い。250万円(実際は227万円)の賃料を半額にしてほしい	ゴミ撤去の費用は買受の際に考慮される	16年6月の売買契約締結で8.2億円の値引きの上に10年分割払いに。支払額は月額にすると100万円程度
工事費の立て替え払い(約1億3千万円の予算化)	15年度予算で返金するといっていたのに予算化されていない	16年度で予算措置する方向で調整中	16年4月6日に支払われる

小学校認可 すすめた維新府政

“「森友」小学校の設置認可で元大阪府議(故人)を介して松井一郎大阪府知事らに働きかけ、「そのおかげで特別の取り計らいをいただいた」——籠池氏は国会でこう証言しました。実際、大阪府

は松井知事のもとで借金による学校開設を既存の学校法人に広く認めるよう基準を緩和しました(12年)。緩和後、「森友」学園だけが認可を申請。『「森友」のための基準緩和』の疑いが濃厚です。

安倍昭恵氏、松井大阪府知事らの証人喚問を 日本共産党